

令和6年度

香芝市の教育に関する事務の
管理及び執行の点検及び評価報告書

(令和5年度対象)

令和6年11月

香芝市教育委員会

目 次

はじめに	1
1. 施策の点検・評価	
（1）令和5年度点検・評価事業一覧	2
（2）点数・自動判定について	3
（3）令和5年度 行政評価（進捗管理シート・3視点評価シート）	5
（4）評価指標シート	12
（5）補足資料	14
2. 資料	
（1）教育委員会の概要	17
（2）会議の開催状況	18
（3）教育委員会会議以外の活動状況	20
（4）児童・生徒・園児数一覧	21

はじめに

『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』により、教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和5年度に実施した事業のうち、主な事業について、教育に関する学識経験者の知見を活用しながら点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

香芝市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(昭和31年法律第162号)(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 施策の点検・評価

(1) 令和5年度点検・評価事業一覧

第5次香芝市総合計画			事務事業名	所管課
政策名	施策名	主な取り組み		
1. 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	【P5】 3. 就学前教育・保育の充実	就学前教育・保育の推進	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	こども課
		就学前教育・保育環境の整備	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	教育総務課
	【P6】 4. 学校教育の充実	学びの推進・支援	学力向上推進事業	学校支援室
			教育相談支援事業	学校支援室
		安心して学べる教育環境の整備	小学校施設維持管理事業	教育総務課
			中学校施設維持管理事業	教育総務課
	【P7】 5. 家庭・地域・学校の連携	地域ぐるみの子どもの支援	学校・地域パートナーシップ事業	生涯学習課
		青少年の健やかな育成	青少年体験交流推進事業	生涯学習課
			青少年健全育成事業	生涯学習課
	3. 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	【P9】 15. 生涯学習とスポーツ活動の充実	生涯学習機会の充実	生涯学習機会提供事業
スポーツ活動の充実			スポーツ活動支援事業	生涯学習課
図書館機能の充実			資料情報提供事業	市民図書館
		読書普及活動事業	市民図書館	
【P11】 16. 歴史文化財の保存と継承・展開		二上山博物館機能の充実	博物館活性化事業	文化財課
		文化財の保護・啓発	文化財保護啓発事業	文化財課

(参考) 【総合評価の算出方法】

必要性、有効性、効率性の3視点評価を今年度評価点数(100点満点)に換算し、その値の合計点数(100点満点)を5段階(A~E)で評価する。

◆項目別の点数割合

項目	点数(最大)	選択肢毎の点数	点数
必要性	100点(平均)	あてはまる(あてはまらない)	20
有効性		ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
効率性		ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
		あてはまらない(あてはまる)	0

【参考】【自動判定結果について】

「②3 視点評価シート」の結果を、以下表に照合して自動判定を行っています。

表に記載している「成果とコストの方向性」、「現在の事業の状態」、「方向性の考え方の例」を参考として、事業の進捗や施策マネジメントの見地から、「今後の方向性」を判断しています。

		点数			現在の事業の状態	「成果」と「コスト」の方向性	方向性の考え方の例
		必要性	有効性	効率性			
1	有効性（のみ）が低い	75~100	0~35	75~100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>全然</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	費用対効果がいいのだから、よりコストをかけて、成果をあげる。
		52~74	0~35	52~74			
		75~100	0~35	52~74			
		52~74	0~35	75~100			
2	有効性（のみ）がやや低い	75~100	36~51	75~100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>あまり</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	生産性をあげる工夫をする。
		52~74	36~51	52~74			
		75~100	36~51	52~74			
		52~74	36~51	75~100			
3	有効性と効率性が「低い」 有効性がやや低く、効率性が低い 有効性が低く、効率性がやや低い 有効性と効率性が「やや低い」	75~100	0~35	0~35	市が行うべき事業であるが、成果がでておらず、また事業効率も悪い。	成果→拡充 コスト→縮小	民間連携や協働化等によって、事業効果と事業効率をあげる。
		52~74	0~35	0~35			
		75~100	36~51	0~35			
		52~74	36~51	0~35			
		75~100	0~35	36~51			
4	3視点とも「高い」か「やや高い」	75~100	75~100	75~100	現状で費用対効果が高く、成果も出ている。	成果→現状維持 コスト→現状維持	現状維持（改善が出尽くしている）
		75~100	75~100	52~74			
		75~100	52~74	75~100			
		75~100	52~74	52~74			
		52~74	75~100	52~74			
		52~74	52~74	75~100			
		52~74	52~74	52~74			
		52~74	52~74	52~74			
5	効率性（のみ）が低い 効率性（のみ）がやや低い	75~100	75~100	0~35	費用対効果が高く、成果もでて いるが、コストがかかりすぎ ている。	成果→現状維持 コスト→縮小	効率性をあげて、コスト削減 していく。
		75~100	52~74	0~35			
		52~74	75~100	0~35			
		52~74	52~74	0~35			
		75~100	75~100	36~51			
6	必要性と有効性が低い 必要性がやや低く、有効性が低い 必要性が低く、有効性がやや低い 必要性と有効性がやや低い	0~35	0~35	75~100	費用対効果は高いが、市が必ず しも実施する必要のない事業 で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小	段階的に事業から撤退して いく。
		0~35	0~35	52~74			
		36~51	0~35	75~100			
		0~35	36~51	75~100			
		0~35	36~51	52~74			
7	3視点とも「低い」か「やや低い」	0~35	0~35	0~35	市が必ずしも実施する必要の ない事業で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0~35	0~35	36~51			
		36~51	0~35	0~35			
		36~51	0~35	36~51			
		0~35	36~51	0~35			
		0~35	36~51	36~51			
		36~51	36~51	0~35			
8	必要性（のみ）が低い	0~35	75~100	75~100	成果がでており事業効率もよ いが、市が必ずしも実施すべ き事業ではない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0~35	75~100	52~74			
		0~35	52~74	75~100			
		0~35	52~74	52~74			
	必要性（のみ）がやや低い	36~51	75~100	75~100			
		36~51	75~100	52~74			
		36~51	52~74	75~100			
		36~51	52~74	52~74			
	必要性と効率性が低い	0~35	75~100	0~35			
		0~35	52~74	0~35			
必要性がやや低く、効率性が低い	36~51	75~100	0~35				
	36~51	52~74	0~35				
必要性が低く、効率性がやや低い	0~35	75~100	36~51				
	0~35	52~74	36~51				
必要性と効率性がやや低い	36~51	75~100	36~51				
	36~51	52~74	36~51				

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	3 就学前教育・保育の充実

★ 目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。



対象箇所

■ 施策の主な取り組み

① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子どもの人口の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定こども園化による保育利用枠の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児との交流等、地域の子育てをサポートする事業を実施します。	●
①-2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対して補助を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚生労働省の要領による)	0	0	0	0	
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/幼稚園型)の数	46	49	51	51	
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数(累計)	9	11	12	13	

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
0	0	0	0	100.0%	100.0%	福祉部 保育課
51	53	55	55	103.8%	112.2%	福祉部 保育課
10	10	10	10	100.0%	90.9%	福祉部 保育課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心・快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	子どもの人口の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕等、日々の維持管理を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	3	5	5	

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
1	1	1	1	100.0%	33.3%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	・管財課と協力し、五位堂地区における認定こども園新設に係る市場調査を実施し、今後の事業パターンを3案作成済。今後、事業スキームを決定していくことで出てくる課題(市民への説明、安全面の考慮)等を解決していく必要がある。 ・保育サービスの実施数は前年度と比較して増加した。	A	90 90 72	現状維持 現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・令和6年度以降、公立園を認定こども園等の保育施設に一本化し、民営化するための業務に切り掛かるため、そのための予算措置は必要と考えられるが、「公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針」に則ったものであるため、成果・コストともに拡充とはしない。	福祉部 保育課 教育部 こども課	
①-2	特別保育等補助事業	・補助の実施は遅滞なく行うことができた。 ・民間保育所等保育士確保対策の効果測定については、施設および保育士等に対し、それぞれ実施した。施設に対しては保育士等の人口の推移を確認し、結果的に保育士確保補助事業の実施以降、非常勤から常勤に勤務形態を変更して勤務する者が増加していることがわかった。(民間園全体でみた常勤保育士(幼稚園教諭含む)数R4年3月末時点:199人、R5年3月末時点:208人、R5年11月末時点:215人)。民間園全体でみた際には、一定程度の効果は出ているが、一部、効果が見られない(または保育士数が減少している)園もある。今後は、効果が見られない園の状況を確認し、原因究明を行う必要がある。保育士等に対しては「保育士が求める働き方アンケート」を実施中。集計が終われば、分析を行う。	A	80 85 100	現状維持 現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・民間保育所等保育士確保対策について、民間園の保育士が増える見込みであり、その分の来年度の補助額が増えるため、予算措置は必要と考えられるが、受動的な理由であるため、拡充とはしない。 ・民間保育所等保育士確保対策については、この施策によって民間保育施設において保育士が確保できたかどうか、効果測定する必要がある。	福祉部 保育課	
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	【実績】 ・三和幼稚園公共下水道接続工事、遊具改修工事については、予定どおり完了した。真美ヶ丘保育所長寿命化改修工事については、現在工事施工中であり令和6年度完了予定である。 ・各幼稚園・保育所・認定こども園施設改修工事については18件実施した。 【課題】 ・今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である	B	95 75 85	現状維持 現状維持	・真美ヶ丘保育所長寿命化改修工事についてR5~R6で工事を実施している。 ・老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 ・個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
必要度	五位堂地区における認定こども園新設については、方向性が決まり次第、遅滞なく事業を進めていく。
量的適正性	民間保育所等保育士確保対策について、効果が見られない園の原因究明を行う。
影響度	「保育士が求める働き方アンケート」の分析結果をもとに、今後の民間保育所等保育士確保対策事業を検討していく。
主体性	ICT推進課とともに、公立保育所・幼稚園・認定こども園において、保育支援システムを導入し、市民の利便性の向上及び職員業務効率化を進めていく。
緊急性	長寿命化計画に沿って各施設の適切な維持管理を継続していく。

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	0 事業	拡大	0 事業
A 2 事業	0 事業	現状維持	3 事業	3 事業
B 1 事業	0 事業	現状維持	0 事業	0 事業
C 0 事業	0 事業	現状維持	0 事業	0 事業

令和5年度 行政評価 3視点評価シート

評価の観点	評価項目	回答方法補足	①-1	①-2	②-1					
			保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	特別保育等補助事業	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業					
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。	あてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない					
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない					
事業の有効性	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。	あてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない					
	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	あてはまる	あてはまる	ややあてはまる					
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。	あてはまる	あてはまる	ややあてはまる					
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる					
事業の効率性	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる					
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる					
	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上させることができる。	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの縮減が可能である。	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					
コスト意識	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。	ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまらない					
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					
	コスト意識	国や県、その他の組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0

▼自動計算(各100点満点)

	①-1	①-2	②-1				
必要性の点数	90	80	95	0	0	0	0
有効性の点数	90	85	75	0	0	0	0
効率性の点数	72	100	85	0	0	0	0

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★ 目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学が意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値				前年度実績値					担当部署
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2	83.0	84.0	80.9	80.9	96.3%	95.9%	教育部 学校支援室
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0	56.0	63.0	55.6	55.6	88.3%	86.9%	教育部 学校支援室
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0	62.0	66.0	63.0	63.0	95.5%	94.0%	教育部 学校支援室
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0	86.3	90.0	-	83.4	92.7%	136.7%	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②-2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値				前年度実績値					担当部署
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19	0	1	0	0	0.0%	-	教育部 教育総務課
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)/改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5	59.1	65.2	65.2	67.0	102.8%	98.0%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当部署
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)		
①-1	学力向上推進事業	【実績】 ・アドバイザー訪問として3小1中を訪れ、学校運営や学力向上に関する助言を行った。 ・学校教育の各分野において学校支援室主催の研修を11回実施した。 ・若手教員支援については要請のあった7小1中にて通年で実施した。 ・外国語指導助手の派遣は予定通り実施した。 【課題】 ・蔵書率の低い学校については、引き続き児童生徒のニーズにあった学校図書の実施に努める。	B	90 70 77	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 教員の資質向上については、学校支援室主催の研修講座やアドバイザー訪問により、一層質の高い教育を行えるように取組を続けていく。また、児童生徒のニーズに合った図書を充実させ、読書活動の効果を高める。 【コストの方向性】 現状の予算を有効に活用できるようにこれまでの執行や予算要望を精査していく。	教育部 学校支援室	
①-2	教育相談支援事業	【実績】 ・計画していた事業は、全て予定通りに実施した。 ・支援スタッフについては学校の要請どおり派遣した。 【課題】 ・さまざまな問題を抱えている児童生徒やその保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当数増を図っていく。	B	100 50 95	拡充 拡大	【成果の方向性】 いずれの事業も、今後も継続していく必要がある。不登校や子どもの発達に悩みを抱えている保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当時間数を増やす。(525時間→555時間)また、学校や保護者の相談を受け、必要に応じて関係機関と連携を引き続き図るとともに、不登校等相談員を新たに配置し相談支援を拡大していく。 【コストの方向性】 相談は増加傾向にあり、カウンセリングの受入れに際しては、必要に応じて関係機関と連携を拡大する。	教育部 学校支援室	
②-1	小学校施設維持管理事業	【実績】 二上小学校長寿命化改修工事は、R5～R7年度を予定しており現在工事施工中である。 ・関屋小学校トイレ改修工事、下水道接続工事については、予定どおり完了した。 ・各小学校改修工事等については、12件実施した。 【課題】今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である	B	95 75 85	現状維持 現状維持	二上小学校長寿命化改修工事をR5～R7で実施。 下田小学校長寿命化改修工事に伴う設計業務について、現在設計中であり、来年度工事施工を予定している。 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	
②-2	中学校施設維持管理事業	【実績】 香芝中学校トイレ改修工事(前年度繰越事業)について、完了した。 ・各中学校改修工事等については、4件実施した。 【課題】今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である	B	95 75 85	現状維持 現状維持	香芝中学校トイレ改修工事(二期)については、完了。 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性
 ・学力向上推進事業のうち若手教員支援プログラムについては、支援方法の改善を図る。
 ・学力向上推進事業のうち学校図書は、国基準標準冊数に対する達成率の少ない学校を重点的に整備する。
 ・教育相談支援事業については、本年度の内容を継続しつつ、カウンセリング機会を増やす。
 ・長寿命化計画に沿って各施設の適切な維持管理を継続していく。

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 1 事業	拡大 1 事業
B 4 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休止 0 事業	休止 0 事業

令和5年度 行政評価 3視点評価シート

評価項目	評価項目	回答方法補足	①-1	①-2	②-1	②-2				
			学力向上推進事業	教育相談支援事業	小学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
事業の有効性	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。	ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上させることができる。	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
事業の効率性	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択数(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0

▼自動計算(各100点満点)									
必要性の点数	90	100	95	95	0	0	0	0	0
有効性の点数	70	50	75	75	0	0	0	0	0
効率性の点数	77	95	85	85	0	0	0	0	0

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	5 家庭・地域・学校の連携

★ 目指す姿
 地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいそいそと活動している。



対象箇所

■ 施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性を持った地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組みます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	既存の地域力を集約し、学校支援につながる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	●
①-2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余剰教室等を活用した入所定員枠の拡充を図ります。	●
①-3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管	
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (当年度実績比)		目標達成率 (R6年度比)
35,021	35,500	-	32,097	90.4%	89.2%	まなび推進局 生涯学習課
0	0	0	0	100.0%	100.0%	福祉部 保育課

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	青少年体験交流事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座を開催します。	●
②-2	青少年健全育成事業	下校巡視や市内一斉巡視、店舗等の立ち入り調査を行い、非行の早期発見や犯罪に関わることを未然に防ぐとともに、「少年の主張」作文コンクールの開催やさまざまな媒体を使った広報啓発活動を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
青少年体験交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数/対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管	
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (当年度実績比)		目標達成率 (R6年度比)
54	2,500	62	3,605	144.2%	144.2%	まなび推進局 生涯学習課
84.0	85	81.2	81.2	95.5%	96.7%	まなび推進局 生涯学習課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管	
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入				
①-1	学校・地域パートナーシップ事業				◎コミュニティ協議会等 【実績】今年度より会計年度任用職員として「地域活動指導員(元校長先生)」が本事業に関わり、学校や地域の方との連絡調整を行っている。コミュニティ協議会にも積極的に参加し、地域や学校との情報共有を図っている。また毎月地域学校共同活動推進委員会を開催し、各校区間の情報共有を図っている。 【課題】地域学校協働活動推進員は、まだ全校に配置されておらず学校間での格差もあることから、引き続き全校に推進員が配置されるよう、学校・地域と調整を行っていく。 ◎地域未来塾 【実績】4中学校中3中学校で事業を実施。延べ390名の生徒が参加。 【課題】本年度も多くの教育実習生がスタッフとして参加しており、子どもたちのみならず、実習生たちの学びの場としても利用されている。来年度は、全校で開催できるよう、周知を行っていくものとする。 ◎放課後子ども教室 【実績】コロナ明け3年ぶりに開催した放課後子ども教室は、10小学校中7校で開催。計109名の生徒が参加。開始を例年より遅らせ、9月～2月までの期間に2回、計12回実施。 【課題】スタッフの募集を重点的に行った結果、多くのスタッフが集まり、満足度の高い内容を実施できている。ただし地域によってはスタッフ不足により実施できなかった学校もあるので、来年度は全学校で実施できるよう、地域・学校と連携を図っていく。	B	72	72	72
①-2	学童保育運営事業	・令和6年度において、真美ヶ丘東小学校の余剰教室を1室確保し、定員枠を30人程度拡充することとした。また、真美ヶ丘西小学校区においても民間事業者者に委託し、受け入れ枠を確保した。 ・令和7年度において、志都美小学校区の学童保育所も志都美小学校内の教室を活用できることとなった。	A	67	90	90	90	90	福祉部 保育課
①-3	学童保育所施設維持管理事業	・下田学童保育所について、床全体を修繕するため、令和6年度に設計委託、令和7年度に修繕工事を実施することとした。	A	80	77	77	77	77	福祉部 保育課
②-1	青少年体験交流事業	◎子どもフェスティバル 【実績】コロナ禍の一段落を受けて3年ぶりの開催となり、参加者数も3057名と過去最高を記録する等盛況であった。 【課題】ふれあいフェスタとの連携不足(会場や開催内容について等)を指摘する声が行き届き、市民にとっては「フェスタ」という一つのイベントであることから、次年度に向けては中央公民館、総合体育館、ふたかみ文化センターの指定管理者との調整も含めて、より一体的なイベントとする必要がある。 ◎体験学習 【実績】年3回の体験学習を実施。全3回ともに定員を上回る応募があった。青少年が普段学校では体験できないような、自然体験、工作体験を実施。日常とは違う環境での体験を通して、初めて出会う参加者同士の交流による社会性の涵養等の機会創出を図った。実施後の参加者アンケートも満足度は高かった。 【課題】応募状況より、ニーズや重要性は高いと考えるが、運営側の人員不足やコストの面で、参加者数や回数を現状より増やすことは難しい。	A	59	72	72	72	72	まなび推進局 生涯学習課
②-2	青少年健全育成事業	◎定例・祭礼・夜間巡視、県警合同立入調査 【実績】巡視活動、県・県警合同立入調査は関係機関と連携を図り計画通り実施。 【課題】青少年への直接的な見守り・声かけと、店舗従業員等に対する啓発活動は継続することは重要であり、引き続き実施すべきであると考えられる。他方、近年急激に増加する青少年のインターネット・SNS被害防止が重要である。 ◎「少年の主張」作文コンクール、市民集会 【実績】「少年の主張」作文については応募数3,502作品と前年比でやや減少したが、概ね計画どおり実施できた。 【課題】自身の生きづらさを綴り市民集会で発表してくれた作者もおり、青少年が社会について考える機会の創出と、市民が作文に励んで青少年の多様化する課題に目を向け、地域ぐるみで青少年の健全な成長に資する環境づくりの重要性をあらためて感じてもらえる機会となるので引き続き実施していく。 ◎強調月間(7月、11月)啓発活動 【実績】香芝市青少年健全育成協議会委員やPTA役員等を対象にオンデマンド配信形式で研修会を開催するとともに、今年度初めて被害防止を啓発する物品を作成し強調月間を中心に配布することで啓発活動を行った。 【課題】青少年の非行・被害防止は、インターネット上でのものが増加傾向にあることから、ネット被害(非行)防止への啓発が今後重要である。	B	59	75	72	72	72	まなび推進局 生涯学習課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿である「子どもたちを地域ぐるみで育てる」ことを実現するため、各事業ともに地域の方の協力を得ながら、事業内容の見直しや拡充を図り、時代に即した事業を行っていく。 ・引き続き、通学路近辺における新たな学童保育所の拠点となり得る場所の調査を実施する。 ・下田学童保育所については、遅滞なく修繕事業を進めていく。 ・香芝市個別施設計画(学童保育所)では、旭ヶ丘第1学童保育所についても修繕を予定しているが、旭ヶ丘小学校の余剰教室に移設することで対応する。
---------	---

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	評価	事業数	評価	事業数
A	3	拡充	2	事業
B	2	現状維持	3	事業
C	0	縮小	0	事業
		休止	0	事業

令和5年度 行政評価 3視点評価シート

施策名 5 家庭・地域・学校の連携

評価の視点	評価項目	回答方法補足	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2			
			学校・地域パートナーシップ事業	学童保育運営事業	学童保育所施設維持管理事業	青少年体験交流事業	青少年健全育成事業			
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択 ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる			
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。	あてはまらない	ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる			
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	ややあてはまらない	あてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる			
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。	ややあてはまらない	あてはまる	あてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまる			
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択 ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる			
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。	あてはまる	あてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる			
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる			
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる			
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない			
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択 あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2			
必要性の点数	72	67	80	59	59	0	0	0
有効性の点数	56	90	77	72	75	0	0	0
効率性の点数	87	90	85	72	72	0	0	0

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当年度比)	目標達成度(R6年度比)	
24	35	27	27	77.1%	77.1%	まなび推進局生涯学習課
31,374	40,000	22,615	50,340	125.9%	71.9%	まなび推進局生涯学習課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当年度比)	目標達成度(R6年度比)	
54	56	54	54	97.0%	106.5%	まなび推進局生涯学習課
205,625	246,000	119,797	236,820	96.3%	107.6%	まなび推進局生涯学習課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当年度比)	目標達成度(R6年度比)	
1.6	1.7	0.9	1.6	94.1%	88.9%	まなび推進局市民図書館
185,882	186,000	99,611	185,000	99.5%	120.1%	まなび推進局市民図書館

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぶっくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館ではおはなし会や読み聞かせ会を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管		
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	生涯学習機会提供事業						◎夏のかしはアカデミー 【実績】 講師募集は定員の30枠を超える応募があり、最終は26講座を実施。受講生は、未就学児から80歳代まで計419人の申込みがあり、当日は計360人の方が参加。 【課題】 実施後のアンケートでは多くの方に満足いただけており、「知らない分野を学べる機会になった。」などの意見があり、幅広い層の人々に学びについて考えてもらう機会になり、また講師も自身の学びを活かす機会になり、生涯学習基本計画の目指す、学びの場、学んだことを活かす機会の創出につながったと考える。一方で、実施までにプロセスに多くの労力がかかり、職員負担が大きいことが課題である。	A	43
		◎家庭教育学級 【実績】 7学級中4学級から「社会教育関係団体活動事業補助金」の申請あり。また年4回の役員会、2回の合同研修会を開催。 【課題】 コロナによる活動休止、少子化の影響もあり、各学級生が減っており、存続が難しいまたは存続不可となった学級が半分を占めている。今後学級を維持していくための学級生募集及び継続しやすい活動方法等を検討していく必要がある。	72	現状維持					
		◎社会教育関係団体活動事業補助金 【実績】 「高齢者学級」1学級および上述の「家庭教育学級」4学級より申請があり執行。社会教育関係団体からは1団体の申請となった。 【課題】 今年度初めての補助金となり、周知等に苦慮した。これまでの団体補助から事業補助への転換を図れたことは大きな成果であった。様々な社会教育関係団体が活用できる補助制度となっているため、多くの団体に活用いただくために、今後の周知が重要である。			77	現状維持			
◎社会教育委員 【実績】 社会教育委員会議は5月と11月に開催し、社会教育事業の計画や経過について委員から様々な見地から意見をいただいた。3月にも開催予定。また各種研修にも委員に参加いただき、他地方自治団体等からの参加者と特色ある取組みについて意見交換・情報共有を通して見識を深めていただいた。	85	拡充	【コストの方向性】 イベント事業については、スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大(市の自主財源は維持)を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。北部地域体育館については長寿命化改修工事を行うことから、体育施設の維持管理費については拡大の方向である。	まなび推進局生涯学習課					
◎スポーツ推進委員 【実績】 13名スポーツ推進委員の委嘱(任期:2年)。各種研修への参加の他、ニュースポーツデーの実施を担う。また今年度より放課後子ども教室への派遣事業を行い、5小学校に出席の放課後の子どもたちに、体を動かすことの楽しさを知ってもらう体験事業を行った。 【課題】 今後は地域へ出向き、子どもからお年寄りまで、体を動かすことのきっかけ作りを広げていく。					85	拡充	【コストの方向性】 イベント事業については、スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大(市の自主財源は維持)を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。北部地域体育館については長寿命化改修工事を行うことから、体育施設の維持管理費については拡大の方向である。	まなび推進局生涯学習課	
◎市町村対抗子ども駅伝 【実績】 これまでは市マラソン大会にて選考を行っていたが、広く選考を行い、準備期間を長くするために、10月・11月に選考会を2回実施。申込者数28名から8名を選出した。12月～2月にかけて全22回練習会を実施。3月2日本番。 【課題】 特になし	72	拡充	【コストの方向性】 イベント事業については、スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大(市の自主財源は維持)を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。北部地域体育館については長寿命化改修工事を行うことから、体育施設の維持管理費については拡大の方向である。	まなび推進局生涯学習課					
◎ニュースポーツデー 【実績】 ボッチャや、カローリング、軽スポーツなどあらゆる世代が気軽に楽しめるニュースポーツ体験イベントを開催。定員数208名を上回る348名の申し込みがあった。 【課題】 特になし					72	拡充	【コストの方向性】 イベント事業については、スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大(市の自主財源は維持)を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。北部地域体育館については長寿命化改修工事を行うことから、体育施設の維持管理費については拡大の方向である。	まなび推進局生涯学習課	
◎かしばスポーツweeeeeek 【実績】 9月に奈良県初のJリーグクラブである奈良クラブの現役選手・コーチがボールによる実技指導教室を行った。定員60名のところ162名の応募あり。10月に、スポーツ活動に馴染みのない市民にも参加しやすいスポーツアトラクション事業と体力測定会を実施。773人の申込みがあり、抽選後236人が参加。 【課題】 応募数の多さから関心の高さがうかがえた反面、落選となった申込者については必要の取りこぼしとなってしまったため、継続的・また拡大した開催の検討が必要である。	72	拡充	【コストの方向性】 イベント事業については、スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大(市の自主財源は維持)を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。北部地域体育館については長寿命化改修工事を行うことから、体育施設の維持管理費については拡大の方向である。	まなび推進局生涯学習課					

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管			
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点			方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
必要性	有効性			効率性	成果の方向性	コストの方向性			
③-1	資料情報提供事業	【実績】 ・蔵書更新は、児童書を中心に進めた。そのため、蔵書新鮮度も対前年度比で上昇した。 ・電子図書館では、新たに児童書読み放題パックを導入したことにより、閲覧回数対前年度比で上昇する結果となった。 ・図書館利用が困難な方へは、「バリアフリーサービス」として、対象とサービス内容の拡充を図った。 【課題】 蔵書更新では、特に乳幼児向けの絵本は傷みやすく、またレファレンス図書については情報更新の必要性が高い等、その資料特性に応じた更新を行う必要があるため、引き続き、取り組む必要がある。	A	90	現状維持	現在、蔵書の更新を進めており、蔵書新鮮度も昨年度同時期より上昇した。しかし、今年度の更新予定冊数は、更新が必要な冊数の4%程度であり、今後も引き続き更新を進める必要があるため、成果・コストとも方向性を現状維持とした。 ・電子図書館利用促進のため、利用手続きを簡素化し、様々な場面で電子図書館の活用を見込み、読み放題パックの導入を行った。その結果、電子書籍の貸出は増加傾向にある。今後は、図書館利用が困難な方の読書環境整備の一環として、電子書籍も含めた図書館資料の更なる利用促進を目的とした仕組みの構築が必要である。 ・バリアフリーサービスについては実施体制を整え、機会を捉えてお知らせしているが、今後も更に周知を進める。	まなび推進局 市民図書館		
③-2	読書普及活動事業	【実績】 ・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各種イベントの利用制限を撤廃した。そのため、定例行事の参加者数は前年度を上回る結果となった。 ・子ども読書活動推進講座として「読み聞かせボランティア養成講座」を開催したところ、想定を上回る申込みがあり、受講者の読書に係るボランティアへの理解を深め、活動へ参画する機会となった。 ・学童へは夏休みにボランティアの協力のもと「本のお楽しみ会」を開催し、2学期より再開した放課後子ども教室へは依頼により読み聞かせ訪問を実施した。 【課題】 ・幼児こども園へは、巡回文庫訪問時に読み聞かせを行っており、読書への動機づけはできていると考えているが、学校に関しては、コロナ前と比較してブックトーク等の依頼件数が減少しており、学校との連携による読書の啓発のための取組みを進める必要がある。	B	80	現状維持			各種イベント等は、図書館利用のきっかけとなる場合が多く、市民の来館意欲の向上や図書館利用の継続のため、今後も実施が必要である。 ・コロナから類に移行し、特に児童向け定例行事の定員が撤廃されたこともあり、その平均参加者数は昨年度よりも増加傾向にある。それぞれの行事は、ボランティアとの連携協力等により実施しているため、更なるコスト削減は困難であり、コストの方向性を現状維持とした。 ・一般向けの講座等については、ボランティア養成講座の参加者が多く、目標値を上回る見込みである。また、60代以上の参加者が多くなる傾向にあり、高齢者のボランティア希望者が一定数存在すると考えられることから、今後、ボランティアの定着へ向けた取組みが必要である。また、講座内容も、ニーズを見極めて工夫や調整を行い、効率化を図りながら継続的な実施について検討を進める。	まなび推進局 市民図書館
				77	現状維持				
				77	現状維持				

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	目指す姿である「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習スポーツに取り組むことができる環境を整える」ことを実現するため、生涯学習基本計画の基本目標である「学ぶ機会及び学んだことを「活かす」機会の提供、そして学ぶ環境の充実を図っていく」 ・図書館においては、令和6年度に図書館システムの更新を予定しており、DX化による利便性の向上と蔵書更新の継続、学校園等との連携強化による子ども読書活動の推進と特別な配慮が必要な子どもへサービスの検討。
---------	--

担当課評価	
A	3 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業

令和5年度 行政評価 3視点評価シート

評価項目	評価項目	回答方法補足	①-1	②-1	③-1	③-2				
			生涯学習機会提供事業	スポーツ活動支援事業	資料情報提供事業	読書普及活動事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。	ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。	ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまる				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの縮減が可能である。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0

▼自動計算(各100点満点)

	43	85	90	80	0	0	0	0
必要性の点数								
有効性の点数	72	85	82	77	0	0	0	0
効率性の点数	77	72	77	77	0	0	0	0

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

★ 目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	博物館DX化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を享受できるデジタルミュージアムの実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の推進等、多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	●

前年度実績値 (R4)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)			
7,905	8,000	4,857	8,244	103.1%	103.1%	まなび推進局 文化財課	
1,070	1,100	1,042	1,590	144.5%	198.8%	まなび推進局 文化財課	

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺庵寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●
②-2	市史編纂事業	市史編さん委員会委員の人選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を策定するとともに、執筆編集を行う市史編纂委員会の委員の人選を進め、市史編纂に向けての組織体制を整備します。	

前年度実績値 (R4)	目標値	今年度の進捗			目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)			
43	44	44	44	100.0%	102.3%	まなび推進局 文化財課	
1,566	1,600	915	1,438	89.9%	89.9%	まなび推進局 文化財課	

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	博物館活性化事業						【実績】博物館DX化による展示設備のリニューアルについては、稼働時期が年度末であることから次年度に効果が見込まれる。特別展の開催や子供向けワークショップ等の開催により、博物館入館者はコロナ禍前の状態に回復してきている。また、博学連携教育については、市内の小中学校に利用促進を啓発したところ、目標値を上回る利用者数があった。【課題】展覧会や講演会等については一定の利用者数が見込まれるが、新たに導入した展示設備との相乗効果により、如何に広報・周知して利用者数の増加が図れるかが大きな課題である。
②-1	文化財保護啓発事業	【実績】狐井稲荷古墳や土山古墳の保存に向けた発掘調査を進め、狐井城山古墳・狐井稲荷古墳については国史跡候補リストに掲載されることになった。文化財保護指導委員や議員による文化財の巡視活動を実施した結果、今年度も文化財の破損や盗難等の被害は無く、また、遺跡の無届行為による開発は皆無であった。尼寺庵寺跡史跡公園では、博学連携教育による施設の利用を促進した。【課題】市内に所在する文化遺産を如何に活用して、観光客の誘致や利用・促進を図れるかが今後の大きな課題である。	A	75 85 80	現状維持 現状維持	成果、コスト共に現時点で十分に成果が出ているため、現状維持の方向性が適切と考えられる。文化財の管理については、保護審議会や史跡整備検討委員会の助言を得ながら、適切に進める必要があると考えられる。歴史講座や地域学習講座等を開催し、市民に香芝の文化財により興味・関心を持っていただけるように取り組みを進める必要があると考えられる。	まなび推進局 文化財課
②-2	市史編纂事業	【実績】市史編纂事業に伴って市史編さん委員会を設置した。同委員会では、市史の構成や編集スケジュールなどについて検討され、基本方針としてまとめた。【課題】次年度に組織する市史編纂委員会について、市史の執筆が円滑に進められるように、如何にして組織体制作りを進められるかが大きな課題である。	A	67 85 80	拡充 拡充	成果、コスト共に今後の事業推進の観点から、拡大の方向性が適切と考えられる。市史編さん委員会は、定期的に開催し委員の意見を取り入れながら、スケジュールに沿って進める必要があると考えられる。市史編纂委員会では、各部門ごとに作業を行い、その中でスケジュール調整を定期的に行い、体制を整備する必要があると考えられる。	まなび推進局 文化財課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	博物館DX化事業を周知し、利用者のサービス向上を推進する。国庫補助金事業による狐井稲荷古墳や土山古墳の発掘調査を進め、成果を博物館の展覧会や講演会・講座等を通じて公開・活用するとともに、市内外に本市の文化財の普及啓発を図る。市史編纂事業に向けて、未知の文化財の調査研究を進めるとともに、市指定文化財に指定して保存を図る。
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 3 事業	拡充 1 事業	拡大 1 事業
B 0 事業	現状維持 2 事業	現状維持 2 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和5年度 行政評価 3視点評価シート

評価項目	回答方法補足	①-1	②-1	②-2					
		博物館活性化事業	文化財保護啓発事業	市史編纂事業					
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	ややあてはまる	あてはまる	あてはまる				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。	あてはまる	あてはまらない	あてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。	あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。	あてはまる	あてはまる	あてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上させることができる。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0

▼自動計算(各100点満点)									
必要性の点数	67	75	67	0	0	0	0	0	0
有効性の点数	85	85	85	0	0	0	0	0	0
効率性の点数	80	80	80	0	0	0	0	0	0

令和5年度 幼小中連携教育推進協議会【活動の記録】

	日付	場所	学年	活動名
香芝中校区	令和5年9月12日	三和小学校	小学校1年生	かずとかんじ
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 漢数字があることを知り、それを正しく読んだり、書いたりすること、また身近なものの数え方に興味を持ち、実際の生活の中で使うことができるようにする。 いろいろなものの数え方を知り、正しく書き表すことができる。 		
	令和5年12月13日	若葉保育所	5歳児	サンタクロスへの手紙を作ろう
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 同じ目的に向かって、友達と一緒に考えたり、工夫したり協力したりして作る楽しさを味わう。 いろいろな素材を使い、自由な発想で表現して作ることを楽しむ。 		
	令和6年1月30日	鎌田幼稚園	5歳児	チャレンジタイムをしよう！(アスレチックコースを友達とつくろう)
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に力を合わせたり、ルールを守ったりしながら、体を動かすことを楽しむ。 互いの思いや考えを受け止め合いながら、遊びを進める充実感を味わう。 		
	令和5年6月1日	香芝中学校	中学校1年生	話し言葉と書き言葉(国語科)
	ねらい	話し言葉と書き言葉の特徴を理解し適切に使い分けられるようにする。		
	令和5年12月7日	下田小学校	小学校6年生	クリスマスパーティーを計画しよう
	ねらい	クリスマスパーティーをするため、集会の内容を考え、お互い意見を折り合いながら学級活動を進めることができる。		
令和6年1月26日	三和小学校	小学校6年生	二つの文の持ちようや筆者の主張を整理し、自分の考えを書こう。(国語科)	
ねらい	二つの教材文の特徴や筆者の主張を比べながら読み、筆者の考え方について思ったことや考えたことを書くことができる。			
令和6年1月30日	鎌田小学校	小学校5年生	道徳	
ねらい	集団の中で自分の役割を自覚し、集団生活の充実にも努めようとする心情を育てる。			
東中校区	令和5年9月15日	五位堂小学校	小学校1年生	国語科 たのしいな、ことばあそび
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。 		
	令和5年12月12日	五位堂保育所	5歳児	グループの友だちとクリスマス会の出し物を考えて作る。
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 養護：衛生的に整えられた環境の中で安心して過ごせるようにする。 教育：自分の考えを話したり友達の思いを聞き入れたりしながら活動する。 ：グループの友達と一緒に試したり、工夫したりしながらイメージを共有して作って遊ぶ。 		
	令和6年1月30日	五位堂幼稚園	5歳児	劇遊びをしよう「劇に使うものを作る」
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に考えたり、試したりしながら劇遊びに必要な物を作る。 イメージを膨らませながら、制作をしたり歌ったりする。 		
	令和5年5月22日	真美ヶ丘東小学校	小学校1・6年生	体力テスト
	ねらい	香芝東中学校の体育教員の専門性をいかした指導を受け、児童の運動能力向上を図る。		
	令和5年6月30日	真美ヶ丘西小学校	全学年	ほのぼのコンサート
	ねらい	コンサートを通して小中の交流を深める。		
令和5年11月15日	五位堂小学校	小学校6年生	私たちにできること	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。 筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考える。 			
令和6年2月2日	香芝東中学校	小学校6年生、中学校1・2年生	新入生体験入学	
ねらい	新入生の中学校に対する不安な気持ちを取り除くと共にスムーズに中学校生活に移行できるための素地を作る。また、中学生は後輩を迎える意識を高める。			
西中校区	令和5年9月8日	関屋小学校	小学校1年生	ききたいな、ともだちのはなし
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 		
	令和5年11月13日	二上幼稚園	5歳児	動きのリズム
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 温度や湿度に留意し、快適に過ごせるようにする。 体の動かし方を意識して取り組み、体を動かす楽しさや充実感を感じる。 		
	令和6年1月23日	二上幼稚園	5歳児	劇遊びをする(それぞれの役の踊りを考える)
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友達と意思を出し合いながら活動を進めようとする。 友達と音楽に合わせて体を動かしたり歌ったりして、表現を楽しむ。 		
	令和5年5月18日	関屋小学校	小学校5年生	中学校教師による測定補助事業
	ねらい	児童が体力・運動能力を最大限に発揮した体力テスト測定を実施するため。		
	令和5年10月27日	香芝西中学校	全学年	音楽会の鑑賞、審査
	ねらい	音楽会を鑑賞することで、中学校の様子を知り、今後の展望を図る。		
令和6年2月6日	二上小学校	小学校6年生	My Future, My Dream	
ねらい	中学校で出会う友達やJTE、ALTに自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活の希望や将来の夢について自信をもって伝えることができるようになる。			
北中校区	令和5年9月28日	旭ヶ丘小学校	小学校1年生	たのしいな ことばあそび
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。 		
	令和6年1月26日	志都美こども園	5歳児	劇遊び「ともだちや」の話し合い
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生活発表会に向けて同じ目標をもち、友達と協力して進めていく楽しさを味わう。 自分の思いや考えを伝え合いながら遊びを進める。 		
	令和5年12月15日	旭ヶ丘小学校	小学校6年生	香芝から学ぶ ～屯鶴峯地下壕から学ぶ平和学習～
	ねらい	自分たちが住む香芝市にも屯鶴峯地下壕という戦争遺跡があることを知り、平和について考える。		
令和6年2月2日	香芝北中学校	小学校6年生	中学校体験入学	
ねらい	小学校6年生に中学校生活の様子を知ってもらい、中学校入学に向けて気持ちを準備させ、スムーズに中学校生活をスタートできるようにする。			

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★ 目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の前向きな向上を促します。	●
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

①-1 学力向上推進事業

R5年度の事業実施計画「学校図書の整備及び児童生徒の読書習慣の確立」について

市民図書館との連携(R5年度実績)

1. 市立小中学校への団体貸出

- ・各校からの依頼に基づき、読書や授業、調べ学習用に、数十冊の本を長期間貸出し。
10校 3,219冊

2. 市立小中学校への団体貸出資料搬送便

- ・週1回、各校の依頼に基づき、団体貸出及び返却資料を搬送。
10校 75回

3. 学校図書館教育研究会との連携

- ・学校図書館用図書資料選書会の開催。
年2回。延べ20校参加。
- ・リサイクル図書頒布会の開催。
年2回。延べ17校参加。368冊頒布。
- ・研究会への参加。
年2回。学校向け利用案内の周知、市民図書館と学校の連携事業の報告を行う。

4. 市立小中学校への学級訪問(ブックトーク)

- ・各校からの依頼に基づき、テーマに沿って複数の図書を関連付けながら紹介する。
3校 17学級

5. かしば電子図書館

- ・市立小中学校の全児童生徒にIDとパスワードを付与。市民図書館利用者と学校利用者は共通の電子書籍を利用可能。学校利用者が利用の大半を占めている。

項目	R5年度実績	うち学校利用者
電子書籍タイトル数	4,382タイトル	-
利用登録者数	24,437人	8,252人
ログイン数	19,713回	15,213回
貸出回数	18,794回	16,160回
閲覧回数	36,249回	29,607回

◆指標の達成状況の全国との比較表

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	香芝市	84.0	-	79.4	83.0	80.9
		全国平均(小)	85.8	-	83.4	85.4	85.4
		全国平均(中)	81.9	-	81.1	83.0	81.8
国語・算数(数学)の勉強が好きなお子どもの割合	%	香芝市	62.0	-	56.5	56.0	55.6
		全国平均(小)	64.2	-	58.6	59.4	61.6
		全国平均(中)	61.5	-	60.8	62.0	61.3
国語・算数(数学)の平均正答率	%	香芝市	65.0	-	63.9	62.0	63.0
		全国平均(小)国	63.8	-	64.7	65.6	67.2
		全国平均(小)算	66.6	-	70.2	63.2	62.5
		全国平均(小)国	72.8	-	64.6	69.0	69.8
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	香芝市	56.0	69.0	86.3	86.3	83.4
		全国平均	71.3	72.9	77.3	79.6	81.6

P.9

③ 図書館機能の充実

指標の達成状況の目標値「市民図書館来館者数」について

R6の目標値は、第5次総合計画記載の数値の為、変更不可。総合計画策定のR2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で来館者数が減少傾向であったため、現時点での値との乖離が発生した。R4とR5は前年度の実績値を鑑み、目標値を上方修正している。

P.13

基礎数値 ※R6.1月の事後評価時点での推計値

蔵書回転率(貸出冊数÷蔵書冊数)

項目	蔵書回転率	貸出冊数	蔵書冊数
数値	1.6回	361,000冊	227,000冊

蔵書新鮮度(受入冊数÷蔵書冊数)

項目	蔵書新鮮度	受入冊数	蔵書冊数
数値	3.8%	8,600冊	227,000冊

市民1人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷人口)

項目	市民1人当たりの貸出冊数	受入冊数	人口
数値	4.6冊	8,600冊	78,585人

児童定例行事平均参加者数

項目	平均参加者数	実施回数	参加者数
数値	10.4人	57回	595人

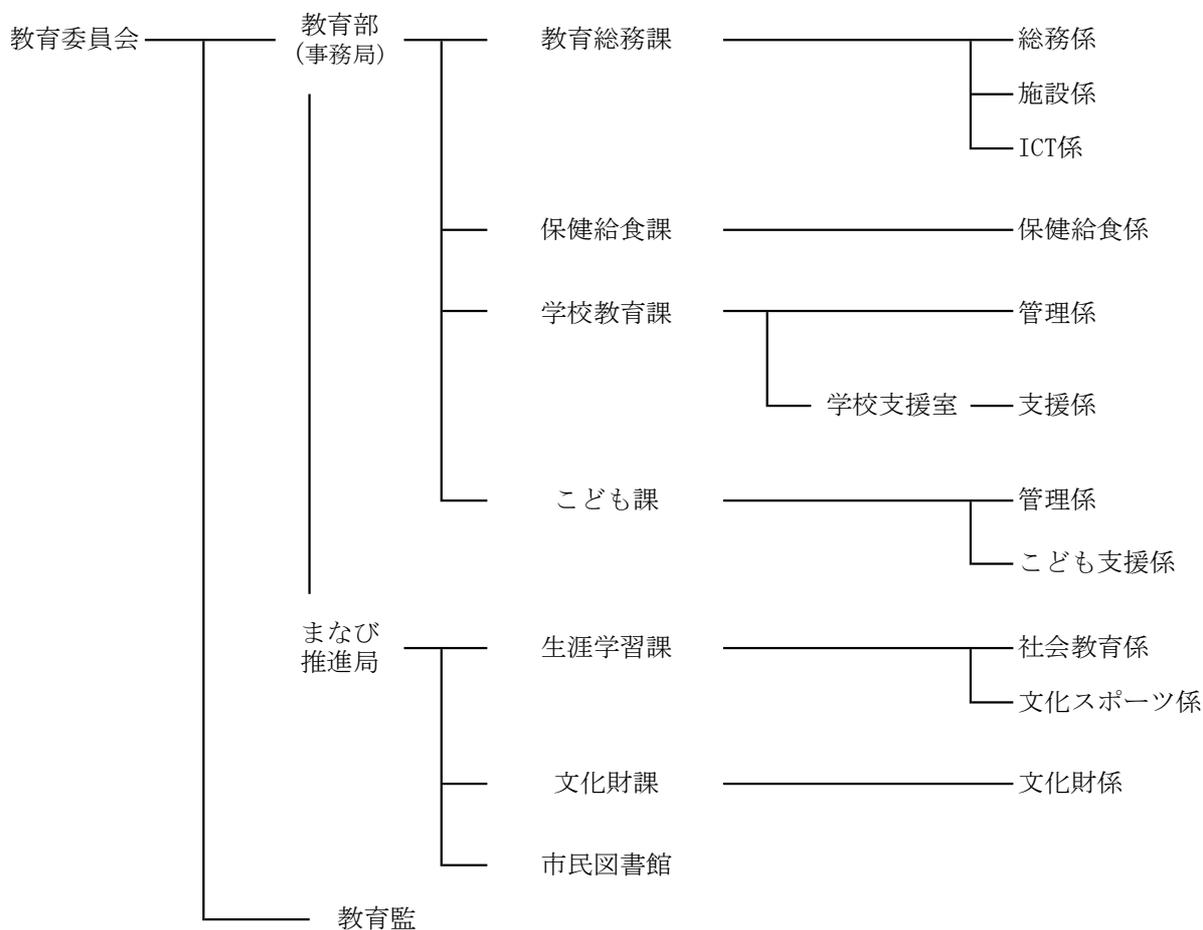
2. 資料

(1) 教育委員会の概要

- ・教育委員及び教育長

役職名	名前	任期
教育長	小西友吉	令和 3. 5. 1 ~ 令和 6. 4. 30
教育長職務代理者	田中貴治	平成 27. 4. 1 ~ 令和 7. 9. 30
委員	三岡正美	令和 2. 10. 12 ~ 令和 6. 10. 11
委員	關野英明	平成 30. 10. 1 ~ 令和 8. 9. 30
委員	山田綾子	令和 1. 10. 12 ~ 令和 5. 10. 11
委員	中尾茜	令和 5. 10. 12 ~ 令和 9. 10. 11

- ・教育委員会組織図（令和5年度）



(2) 教育委員会会議開催状況

(令和5年4月～令和6年3月)

区分	開催月日	案件	顛末
4月定例会	4月24日	香芝市いじめ・不登校等対応委員会委員の委嘱及び任命に関する報告並びに承認について	原案承認
		香芝市公民館運営審議会委員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市地域学校協働活動推進員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市指定文化財の指定について	原案可決
		学校運営協議会委員の委嘱、任命及び解任に関する報告並びに承認について	原案承認
5月定例会	5月22日	香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
		香芝市就学指導委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
		香芝市史編さん委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
6月定例会	6月28日	令和5年度香芝市幼稚園医の委嘱について	原案可決
		香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決
		香芝市史編さん委員会委員の委嘱について	原案可決
		請願書の提出について	継続審議
		教育財産の管理に関する協議について	原案承認
7月定例会	7月26日	請願書の提出について	請願不採択
8月定例会	8月22日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
		令和6年度使用教科用図書の採択について	原案可決
		市長と教育委員会との地方自治法第180条の3の規定に基づく協議について	原案可決
9月定例会	9月29日	学校運営協議会委員の解任及び委嘱について	原案可決
		令和5年10月1日付香芝市教育委員会事務局職員の人事について	原案可決
10月定例会	10月27日	香芝市文化施設条例施行規則等の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市教育委員会附属機関設置規則の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正することについて	原案可決
		令和5年度香芝市教育委員会感謝状被贈呈者の決定について	原案可決
11月定例会	11月29日	香芝市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正することについて	原案可決
		令和5年度香芝市の教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について	原案可決
		香芝市文化施設条例施行規則等の一部を改正する規則の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
12月定例会	12月26日	請願書の提出について	継続審議
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市学校給食費徴収規則の一部を改正する報告および承認について	原案承認
		香芝市教育委員会事務局職員の人事について	原案可決
1月定例会	1月26日	請願書の提出について	請願採択
		令和5年度香芝市教育委員会表彰被表彰者の決定について	原案可決
2月定例会	2月27日	香芝市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
		香芝市文化施設条例施行規則等の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について	原案承認

区分	開催月日	案件	顛末
3月定例会	3月28日	令和6年度香芝市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の委嘱について	原案可決
		香芝市史編さん委員会規則の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正することについて	原案可決
		令和6年度学校産業医の委嘱について	原案可決
		市長と教育委員会との地方自治法第180条の3の規定に基づく協議について	原案可決
		令和6年度香芝市教育委員会事務局職員、幼稚園教職員及び用務員の人事について	原案可決
		令和6年度認定こども園職員の人事について	原案承認
		香芝市議会議員への通告について	原案可決

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

(令和5年4月～令和6年3月)

月	日	行 事 名
4 月	7 日	中学校入学式
	10 日	小学校入学式
	11 日	幼稚園・認定こども園入園式
10 月	4 日	中学校体育大会（香芝中・香芝東中・香芝北中）
	5 日	中学校体育大会（香芝西中）
	7 日	幼稚園・認定こども園運動会（関屋幼・旭ヶ丘幼・鎌田幼・真美ヶ丘東幼）
	21 日	小学校運動会（三和小・鎌田小・下田小）
		幼稚園運動会（五位堂幼・二上幼）
	28 日	小学校運動会（五小・二小・志小・関小・東小・西小・旭小）
		幼稚園・認定こども園運動会（三和幼・下田幼）
	31 日	学校訪問
11 月	2 日	学校訪問
	5 日	第32回子どもフェスティバル
	6 日	学校訪問（11/6、11/9、11/10、11/13、11/20、11/22）
	〃	
	22 日	
1 月	8 日	二十歳を祝う会
	21 日	香芝市マラソン大会
2 月	10 日	教育委員会表彰式
3 月	13 日	中学校卒業式
	18 日	幼稚園・認定こども園卒園式
	19 日	小学校卒業式

(4) 児童・生徒・園児数一覧

(令和5年5月1日現在)

小学校	平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		前年比	
	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数
五位堂	15	430	15	437	15	420	16	430	16	455	0	25
下田	24	759	24	759	24	726	24	718	24	768	0	50
二上	24	771	23	756	23	715	22	656	21	613	-1	-43
志都美	10	267	9	270	8	248	10	249	9	235	-1	-14
関屋	13	423	12	413	12	394	12	390	12	383	0	-7
三和	13	440	14	447	16	430	17	454	17	489	0	35
鎌田	9	228	7	216	7	201	7	203	8	212	1	9
真美ヶ丘東	16	507	16	499	16	437	16	439	16	448	0	9
真美ヶ丘西	14	419	15	425	15	421	15	420	15	444	0	24
旭ヶ丘	27	887	26	821	24	708	23	653	22	644	-1	-9
計	165	5,131	161	5,043	160	4,700	162	4,612	160	4,691	-2	79

中学校	平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		前年比	
	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数
香芝	17	634	18	674	18	652	18	656	18	694	0	38
香芝西	15	542	15	541	15	523	15	527	15	553	0	26
香芝東	17	637	17	613	17	595	17	608	17	602	0	-6
香芝北	19	705	19	672	18	624	16	566	14	513	-2	-53
計	68	2,518	69	2,500	68	2,394	66	2,357	64	2,362	-2	5

幼稚園	平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		前年比	
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数
五位堂	2	50	2	44	2	32	2	26	2	25	0	-1
下田	6	152	6	130	6	119	6	109	6	114	0	5
二上	2	60	2	47	2	36	2	36	2	26	0	-10
志都美	2	24	2	21	1	7	0	0	0	0	0	0
関屋	3	61	3	46	3	38	3	23	3	22	0	-1
三和	4	84	4	89	4	83	4	81	4	74	0	-7
鎌田	3	68	3	65	3	65	3	50	3	52	0	2
真美ヶ丘東	7	162	6	141	6	131	7	133	7	144	0	11
旭ヶ丘	6	132	6	101	4	85	3	70	3	63	0	-7
計	35	793	34	684	31	596	30	528	30	520	0	-8

※評価・点検の方法

- ① 主な取組み事項ごとの点検評価シートにより自己点検及び自己評価を行った。
- ② 点検及び評価は、前年の事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとする。
- ③ 事業の進捗状況を取りまとめ、評価の客観性を確保する観点から、知見者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行った。

2. 点検・評価シートに関する知見者の意見

令和5年度の香芝市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価に関して資料を拝見し、説明を受けた。市としての施策評価シートや事務事業評価シートに基づく総合評価が行われたので、その説明も受けた上で、評価を行った。

○就学前教育・保育の充実

保育所、幼稚園、小学校についてしっかり連携して業務を行ってほしい。
保育所、幼稚園、小学校の連携についての指標等があってもいいのではと考えます。

○学校教育の充実

スクールカウンセラーの要望が多いなか、そのカウンセリングの予約が取れないのが現状であり、カウンセラーの日数を増やす等対策していただきたい。
学校へ行くのが楽しくなる方法として、学校や教育委員会は何ができるのか考えていただけたらと思います。

学力向上や学校へ行くのが楽しいということにつながる、教員の研修会、研究会に県内だけではなく、県外にも参加したり、講師を招いたりできるよう積極的に進めてもらいたい。

学校図書において、図書館電子書籍の数字も指標としてあってもいいのではと考えます。

○家庭・地域・学校の連携

地域学校協働活動委員の指導員がいろいろカバーしていただくことで、住民の方からの推進員が育たなくなっている、指導員と推進員の関係性についても課題であるように思われる。ボランティアの方の募集の仕方を工夫してより多くの方に参加してもらえるようお願いしたい。

子どもたちが身近にキャッチボール等遊べる環境を整えて欲しい。

○生涯学習とスポーツ活動の充実

社会教育関係施設の改修の指標があってもいいのではと考えます。

生涯学習機能提供事業の必要性が低いですが、課題についていろんな方法等の検討をお願いしたい。

○歴史文化財の保存と継承・展開

観光客の誘致や利用促進について市の観光部局と引き続き連携して進めて下さい。

○総括

数値整理されているのは分るのですが、文字に表れてこない連携の部分であったり、教育委員会としての考えや分析について、もう少しうまくわかりやすくまとめていただけたらと思います。

また、市民にわかりやすく伝えていくような工夫をしていただければと思います。

知見者名簿

畿央大学 教育学部 教授	島 恒生
香芝市社会教育委員	宮村 裕子
香芝市PTA協議会 会長	藤田 順子

【知見者と教育委員会事務局職員との懇談会】

